



美味しい給食

「学校で好きな時間は？」と子どもたちに尋ねると、多くの子どもから「給食の時間」と答えが返ってきます。毎日、家で給食の献立を見てくる子どももいます。それくらい子どもたちにとって関心が高く、とても楽しみにしている時間でもあります。

私が小学生の頃、牛乳は高価でした。そのため、我が家では、毎日瓶の牛乳3本を牛乳屋さんが配達してきますが、飲めるのは父親だけです。父親が、朝に夕に晩に1日3回腰に手を当て、牛乳を美味しそうに飲む姿を、私たち兄弟姉妹は羨ましく、唾を飲み込みながら見ているだけでした。



中学生になって学校の給食に牛乳が出るようになった時、大喜びしたのを今でもよく覚えています。小学校の給食では、「脱脂粉乳」を金属性の食器に入れて飲んでいたので・・・

また、おかずも今ほど材料やメニューが豊富ではなく、私にとっては食欲がわくようなものではありませんでした。まるで「ALWAYS 三丁目の夕日」の映画のようでしょう。

親から、毎日「ご飯は一粒も残さず、どんな食べ物でも感謝して食べなさい。」と言われていました。

時代は変わり、食料が豊富になり、今の給食のメニューは豪華になりました。

20日(月)のメニューは、「ポークカレーライス・フルーツヨーグルトあえ・むぎごはん・ミルク」です。フルーツヨーグルトあえなんて、なんとお洒落なメニューでしょう。子どもたちに大人気のメニューなので、配膳した後の食缶は、どれも空っぽです。

いつも、空っぽだと嬉しいのですが、残念ながら普段は残食率が7%くらいと多いのです。特に多いのが、汁物や野菜類・根菜類です。

学校では、残食率を5%以下にする取組を行っています。配膳の時に食缶を空にしたり、給食週間を設けたり、給食センターの栄養士さんに給食についてお話をしてもらったりと色々な取組を行っています。その成果として残食率が4%くらいになることもあります。

給食は、栄養のバランスのとれた食事です。また、野菜は体の調子を整える役目があり、1日30品目を取りましようとも言われているものです。

「よく食べ、よく遊び、よく学ぶ」湯来南小学校の子どもになるよう、私たちは応援していきたいと思えます。

子どもたちの心身の健やかな成長のために、これからも家庭と連携を深めていきたいと思えます。

今、「マルマルモリモリ」の歌が1年生～3年生で流行っています。

まさに、マルマルモリモリとたくさん食べて、元気のよい子どもでいてほしいですね。



マルマルモリモリ

まるまるもりもり みんな食べるよ
 つるつる てかてか あしたも
 晴れるかな

大きくなったら お空に声が届くかな
 いつまでも一緒だよ

まるまるもりもり みんな食べるよ
 つるつる てかてか あしたも
 晴れるかな

悲しくて泣いていた 一人歩く帰り道
 こんな時 ほんわか
 みんなに 会いたいな
 まるまるもりもり
 おまじないだよ

つるつる てかてか につこり笑顔
 いちのさんしでゴマ塩さん
 たくさんだと美味しいね